

Oh!顧客の達人旧バージョンのデータを  
Oh!顧客の達人 S で利用する方法について

「Oh!顧客の達人7」及び「Oh!顧客の達人8」  
をお使いの方へ

## Oh!顧客の達人7及びOh!顧客の達人8データのコンバート

ここのご案内はOh!顧客の達人7及び8バージョンで作成したデータをOh!顧客の達人Sで利用できるようにする方法の説明をしています。

Oh!顧客の達人Sでの利用には、

1. 旧バージョンで利用の画面をそのままOh!顧客の達人Sで利用する方法
2. Oh!顧客の達人Sの新しい画面で旧バージョンのデータを利用する方法

の2つの方法があります。以下それぞれを説明します。

注意1) 尚、Oh!顧客の達人Sの履歴画面はリストコントロール機能で設定しているため、旧 Oh!顧客の達人の履歴データは変換されません。旧 Oh!顧客の達人の履歴データを利用したい場合は旧画面のコンバートによる利用“1”でお使いください。

注意2) 異なるパソコン間での移行については、旧 Oh!顧客の達人のフォルダ内にある拡張子がFMO及びDBDファイル(\*.FMOファイル、\*.DBOファイル)を全てリムーバルディスクなどにコピーし、新しいパソコンに旧達人フォルダ c:\¥tatuX (Xはバージョン番号)を作り その中へコピーしてください。また、テキストデータを利用する場合、旧 Oh!顧客の達人でテキストファイル(TXTファイル)を作成後、新しいパソコンの旧達人フォルダ c:\¥tatuX (Xはバージョン番号)にコピーしておいてください。

### 1. 旧バージョンで利用の画面をそのまま Oh!顧客の達人 S で利用する方法

この処理は、これまで利用されていた Oh!顧客の達人旧バージョンのデータ及び画面を新しい Oh!顧客の達人 S でそのまま利用するための画面及びデータ移行です。

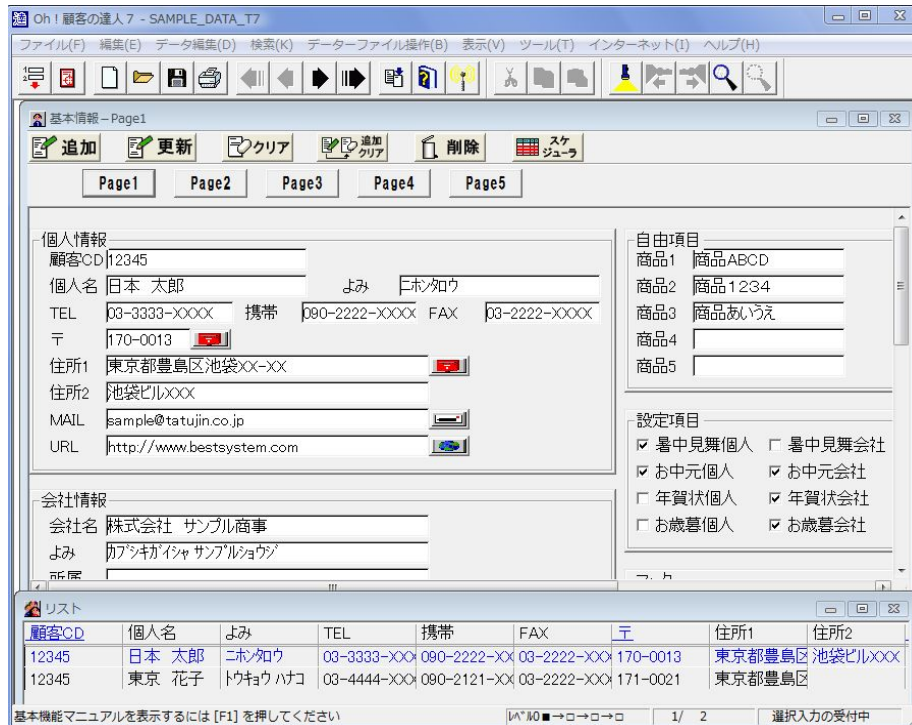
1、あらかじめ「Oh!顧客の達人 S」をパソコンにインストールしてから以下の操作を行って下さい。

2、万が一のトラブルの為に「Oh!顧客の達人」フォルダ(¥tatuXX)ごとバックアップ(別フォルダに全コピー)をとっておいてください。

3、パソコンが異なる場合は、データ移行に必要なファイル(拡張子が FMO、DBO ファイル及び TXT ファイル)は、Oh!顧客の達人 S をインストールされているパソコンへ新たなフォルダ(C:\¥tatuX)を作成し、その中へコピーしておいてください。

## 1-1. 旧「Oh!顧客の達人」で作成したデータを「テキストデータ」で保存する。

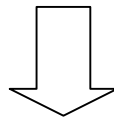
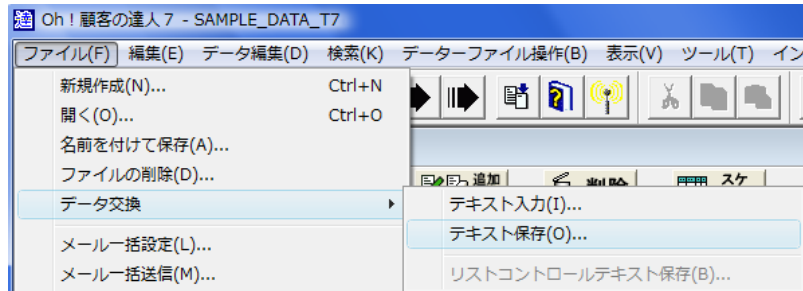
1) 旧「Oh!顧客の達人」を起動します。(画面は Ver7.0)



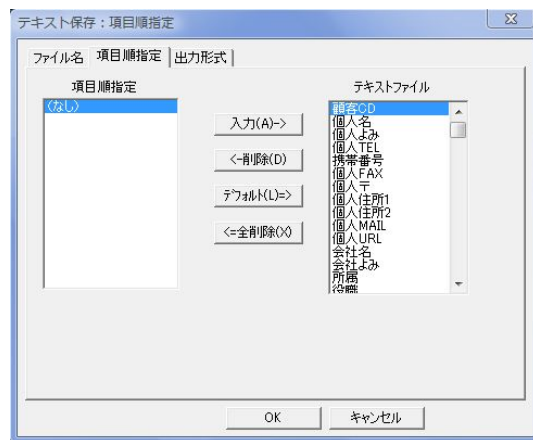
2) 移行したいデータを「開く」にて画面に表示します。

(すでに表示しているデータの場合は3)へ)

3) 「ファイル」「データ交換」「テキスト保存」メニューによりデータをテキストデータとして保存します。



任意のファイル名を入力します。



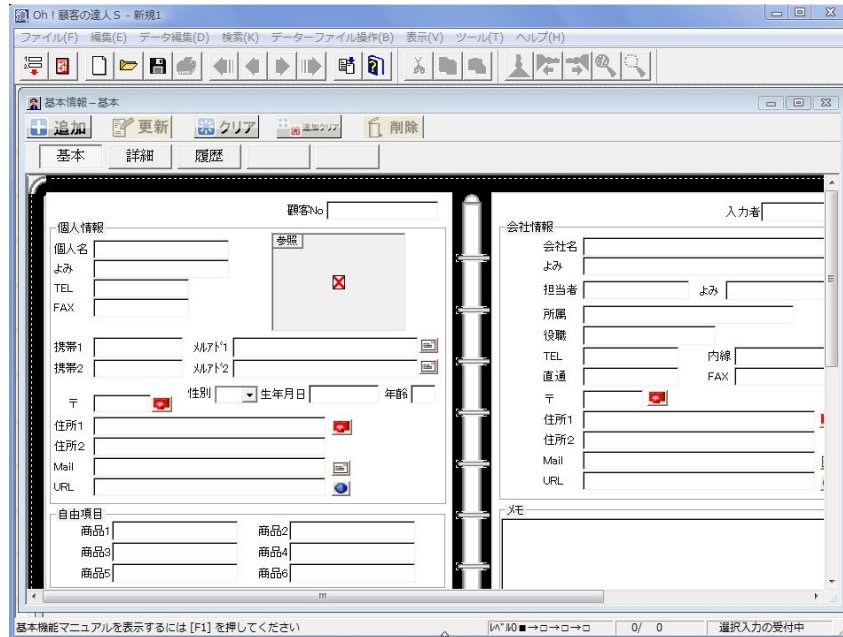
項目順指定はデフォルトをクリックします

「OK」をクリックすることで、入力したファイル名で「Oh!顧客の達人」のフォルダ (c:¥tatuX) に保存されます。 Xはバージョン番号

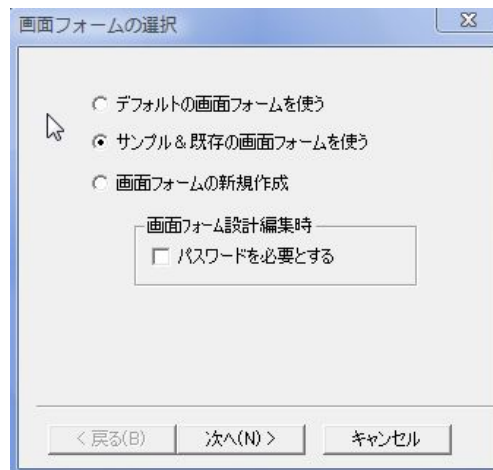
Oh!顧客の達人 S が別なパソコンにある場合、ここで保存した c:¥tatuX フォルダ内の拡張子が TXT ファイル(ここでは sample\_text)と、FMO ファイル及び DBD ファイルをリムーバディスクなどを利用して保存し、新しいパソコンの c:¥tatuX にコピーしてください。

1-2. 「Oh!顧客の達人 S」で旧 Oh!顧客の達人の画面を読み込む。

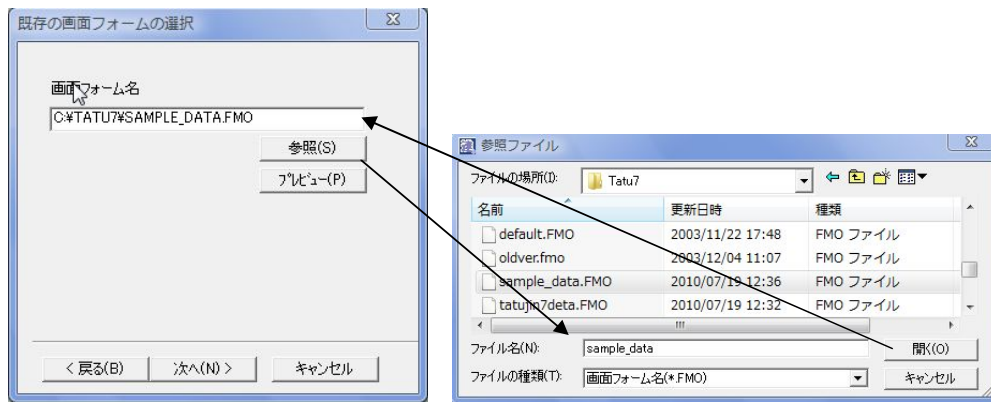
1) 「Oh!顧客の達人 S」を起動します。



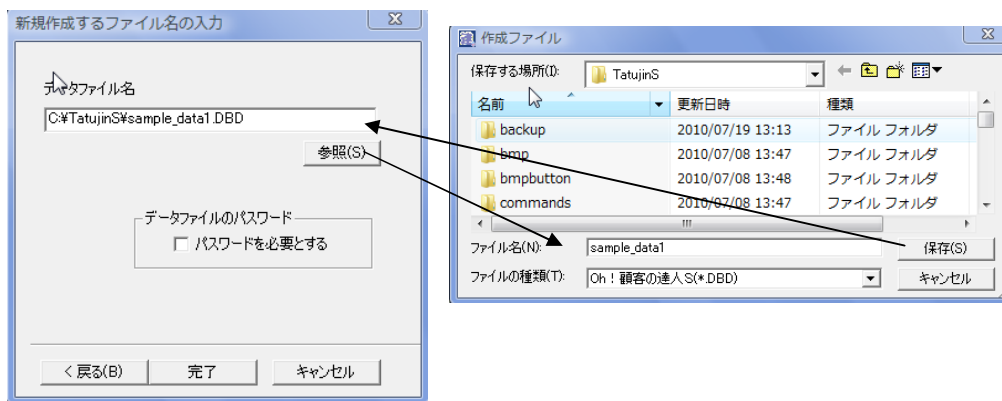
2) 「ファイル」「新規作成」メニューを選択し、現在のファイルを閉じ「Oh!顧客の達人 S」で旧画面ファイルを読み込(作成)ます。



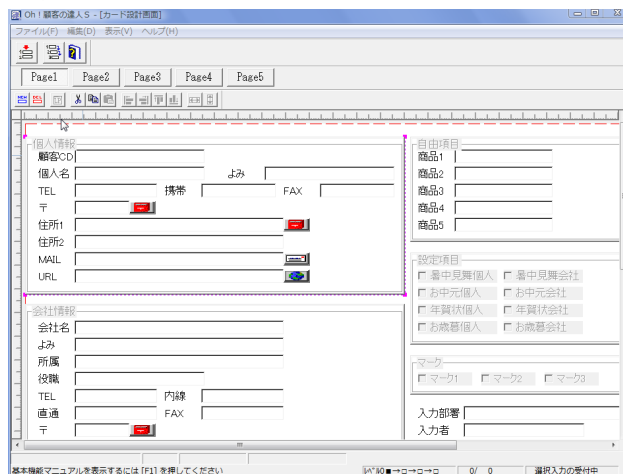
画面作成の画面が表示します。ここで、「サンプル&既存の画面フォームを使う」にチェックし「次へ」を選択します。



3) 画面フォームの選択画面が表示します。  
 参照ボタンをクリックし、Oh!顧客の達人 S へ引き継ぎたい画面名を  
 C:\¥tatuX ( X はバージョン名) から選択します。  
 設定ができれば「次へ」を選択します。



4) 「参照」をクリックし c:\¥tatuS フォルダ内に新しいデータファイル名作成し  
 次に「保存」をクリックし、続いて「完了」を選択します。  
 (ここでのデータファイル名は今後利用するファイル名となります)  
 完了により、引き継いだ画面が表示します。



### 1-3. 「Oh!顧客の達人 S」で 旧 Oh!顧客の達人の画面の環境設定を行う。

Oh!顧客の達人 S への画面レイアウトの引き継ぎでは、自動よみの設定、〒辞書  
の設定が出来ておりません。このため、それらの設定を行う必要があります。

#### 1) 画面設計モードへの切替

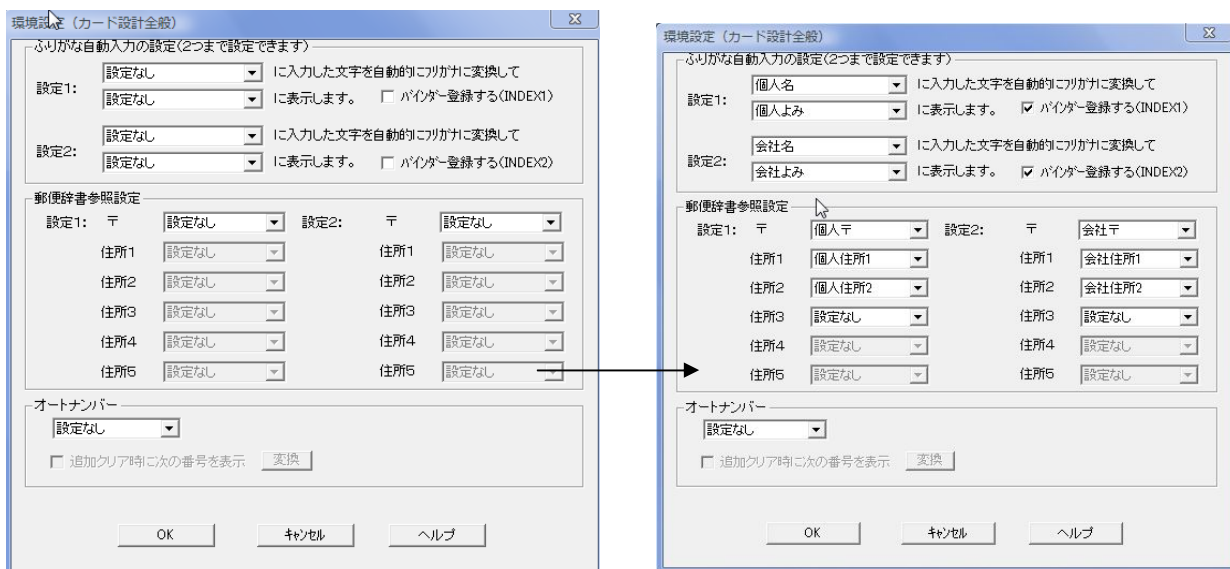
画面左上のアイコンをクリックします。



設計モードに切り替わります。

#### 2) 「ファイル」「環境設定」をクリックします。

環境設定画面が表示しますので、以下と同一な設定を行ってください。



3) 環境設計画面が表示されます。ここでは、自動フリカナの設定及び郵便  
番号辞書の変換設定を行います。以下のように設定してください。

フリガナ設定では

設定 1 では、“個人名”に対するよみを“個人よみ”に表示させます。

設定 2 では、“会社名”に対するよみを“会社よみ”に表示させます。

個人名や会社名をバインダーに登録する場合は、それぞれの“バインダ  
ー登録する”にチェックをつけます。

郵便辞書参照設定では

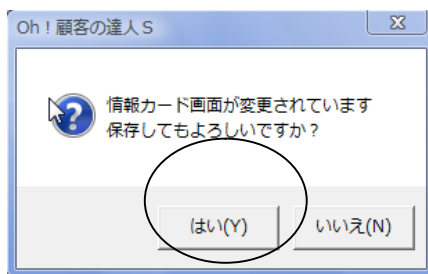
設定 1 では、個人〒に 個人住所 1、個人住所 2 を設定します。

設定 2 では、会社〒に 会社住所 1、会社住所 2 を設定します。

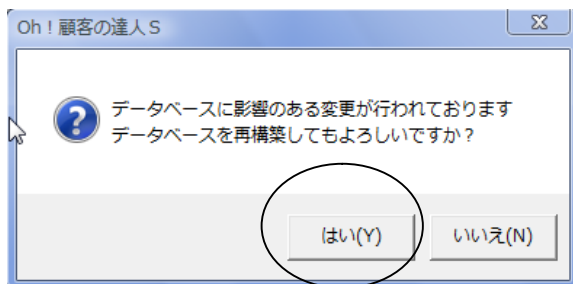
以上のように設定します。

また、オートナンバー設定している場合は「オートナンバー」の項目を選択指定してください。設定の終了後はOKによりコンバートが開始されます

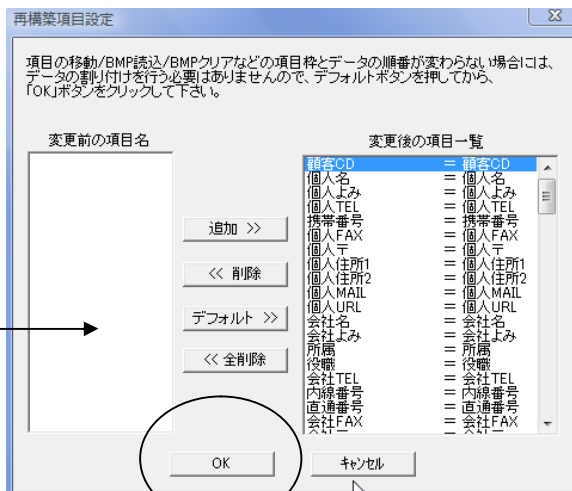
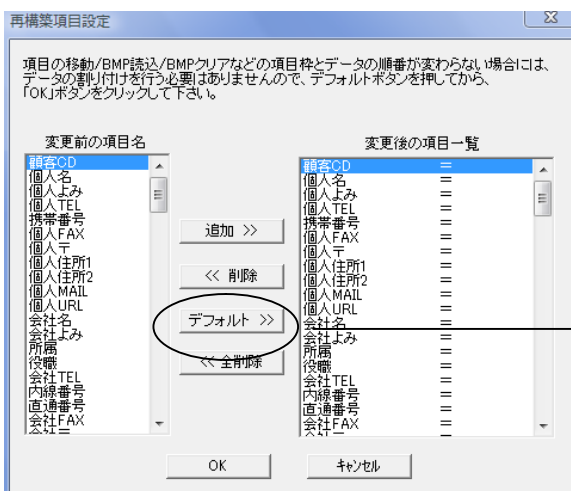
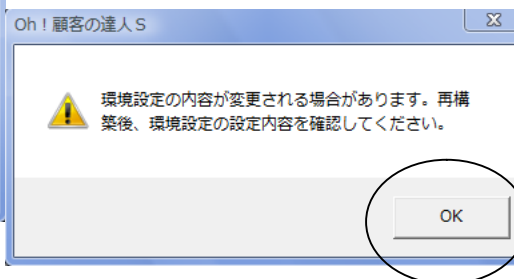
4) 画面実行モードへの切替  
画面左上のアイコンをクリックします。



「はい」を選択します。



「はい」を選択します。



「デフォルト」を選択して、項目を割り当てます。

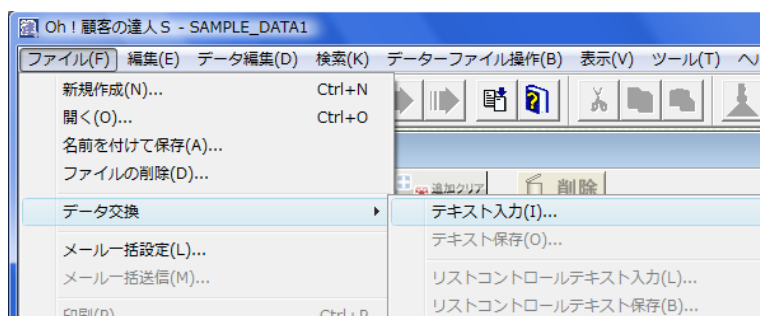
「OK」を選択します。これで画面移行ができました。



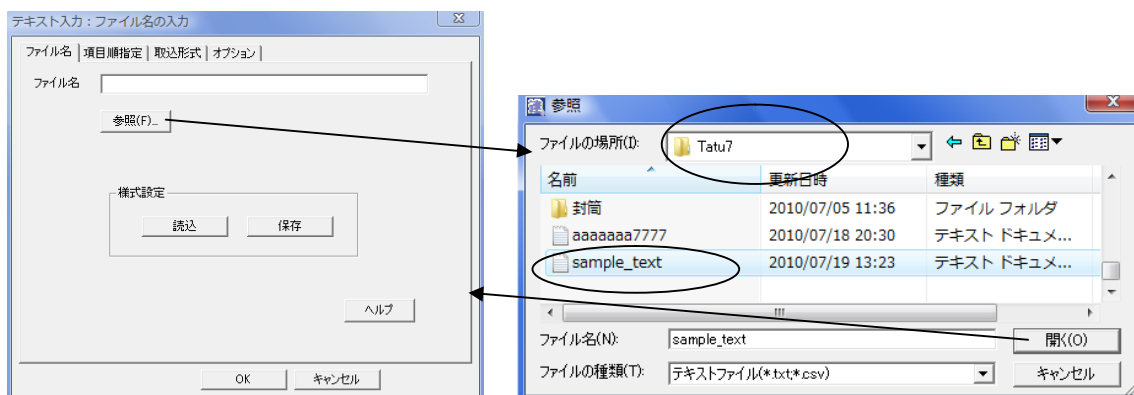
1-4. 「Oh!顧客の達人 S」に 旧 Oh!顧客の達人 “テキストデータ” の取込を行う。

注意) パソコンが異なる場合は、旧バージョンで保存したテキストデータ (拡張子 TXT) ファイルを Oh!顧客の達人 S のあるパソコンにあらかじめコピーしておいてください。

1) 「ファイル」メニューの「データ交換」「テキスト入力」を選択して、最初に保存したテキストデータを読み込みます。

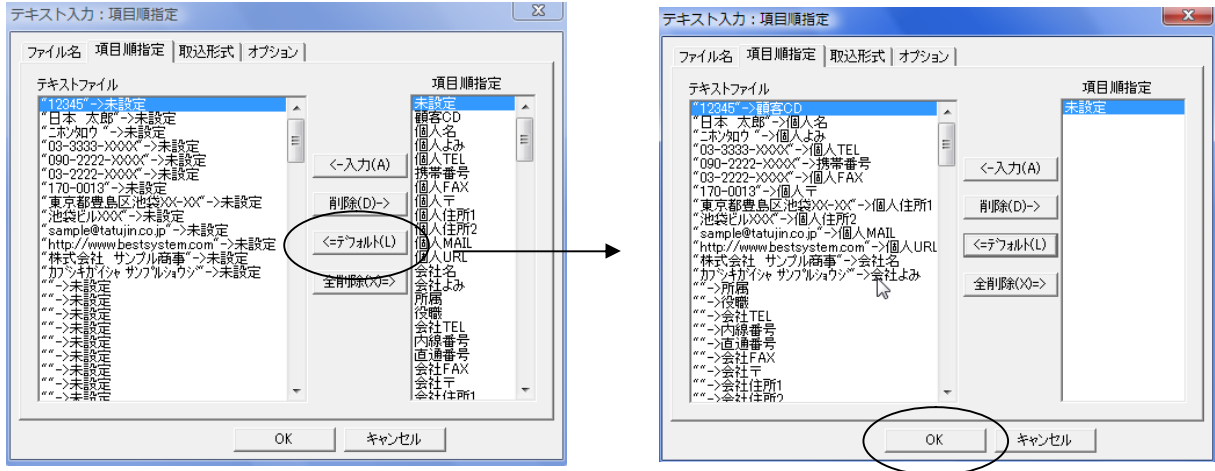


テキスト入力画面が表示します。



2) 「参照」をクリックし最初に保存した場所 c:\¥tatuX ( X はバージョン名) を指定し、そこで表示した保存テキストファイル名 “sample\_text” を指定し「開く」をクリックします。 ファイルがセットされます。

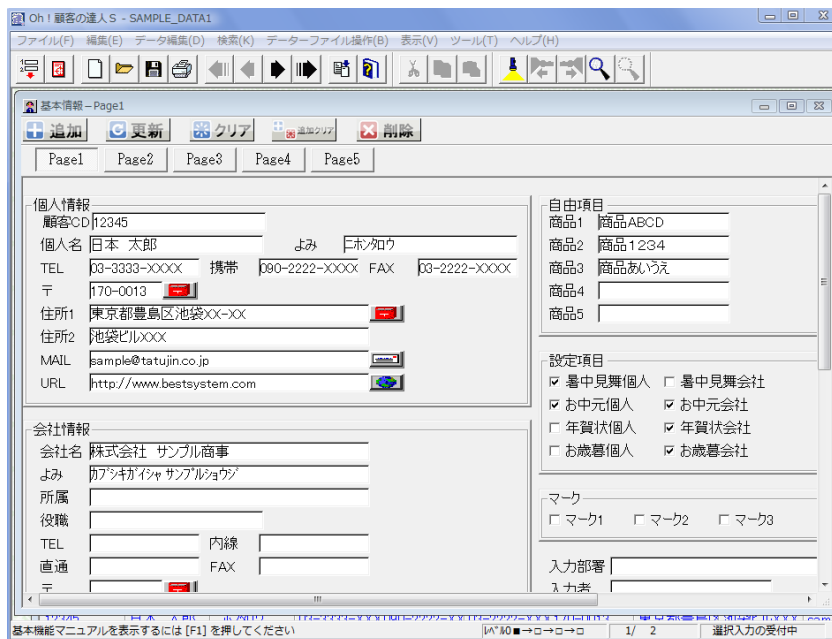
3) 次に「項目順指定」タグを選択します。



画面が同一なので「デフォルト」ボタンをクリックします。

項目が割り当てられます。終わりましたら「OK」を選択します。

テキストデータを読み込画面（2件名以降）に表示されます。



これで全ての作業が完了しました。今後は Oh!顧客の達人 S の画面、データとして利用されることとなります。

## 2 . Oh ! 顧客の達人 S の新しい画面で旧バージョンのデータを利用する方法

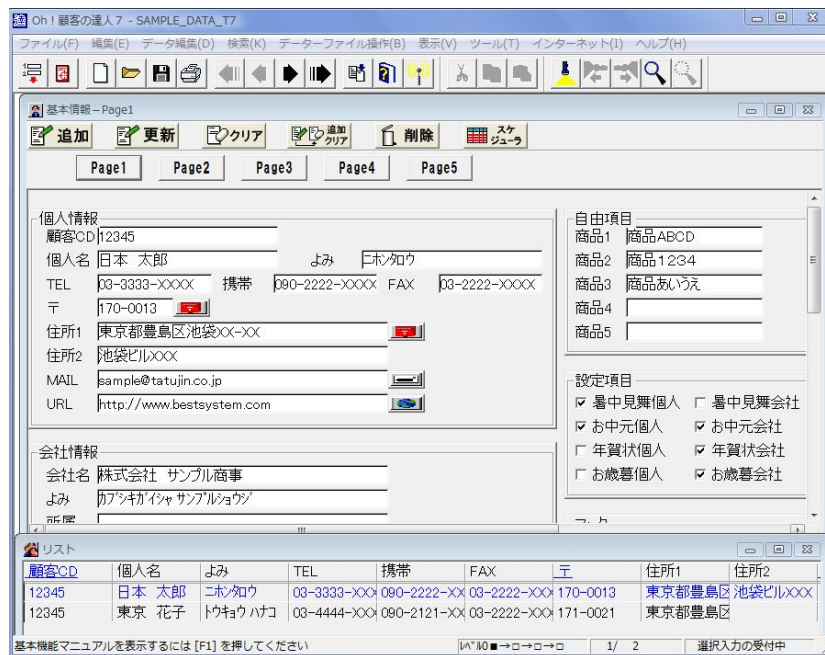
この処理は、これまで利用されていた Oh!顧客の達人旧バージョンのデータを Oh!顧客の達人 S の新しい画面で利用するためのデータ移行作業です。

1 あらかじめ「Oh ! 顧客の達人 S」をパソコンにインストールしてから以下の操作を行って下さい。

2 万が一のトラブルの為に「Oh!顧客の達人」フォルダ( ¥tatuXX )ごとバックアップ( 別フォルダに全コピー )をとっておいてください。

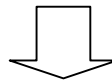
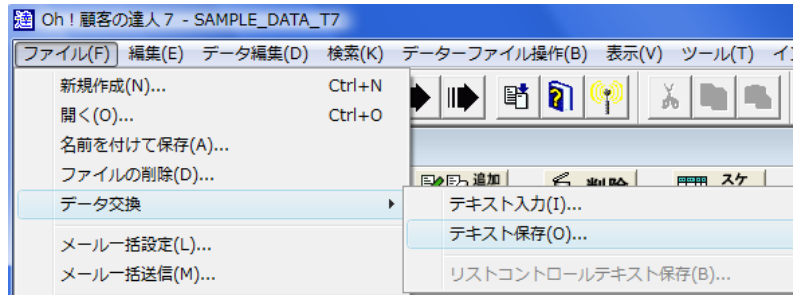
### 2-1. 旧「Oh!顧客の達人」で作成したデータを「テキストデータ」で保存する。

1 ) 旧「Oh ! 顧客の達人」を起動します。( 画面は Ver7.0 )

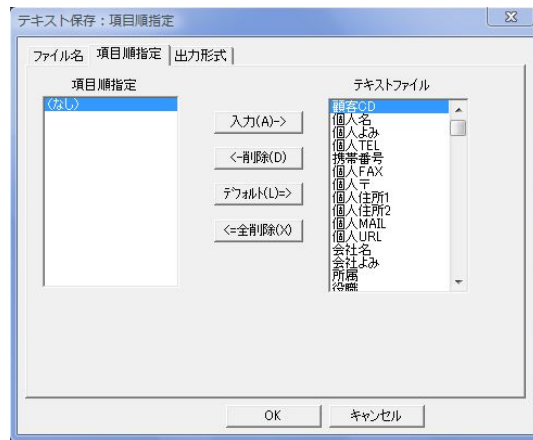


2 ) 移行したいデータを「開く」にて画面に表示します。

3)「ファイル」「データ交換」「テキスト保存」メニューによりデータをテキストデータとして保存します。



任意のファイル名を入力します。



項目順指定はデフォルトをクリックします

「OK」をクリックすることで、入力したファイル名で「Oh!顧客の達人」のフォルダ (c:¥tatuX) に保存されます。 Xはバージョン番号

これで、データがテキストデータとしてそれぞれの旧バージョンのフォルダに保存されました。

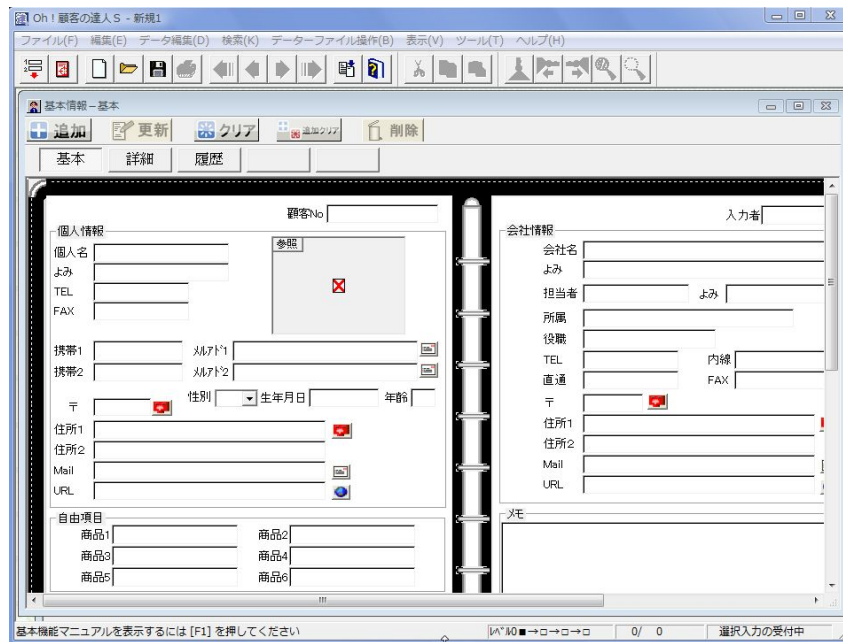
Oh!顧客の達人 S が別なパソコンにある場合、ここで保存した c:¥tatuX フォルダ内の拡張子が TXT ファイル (ここでは sample\_text) をリムーバブルディスクなどにより、新しいパソコンの c:¥tatuX にコピーしてください。

## 2-2. 「Oh!顧客の達人 S」で旧 Oh!顧客の達人のテキストデータを取込む。

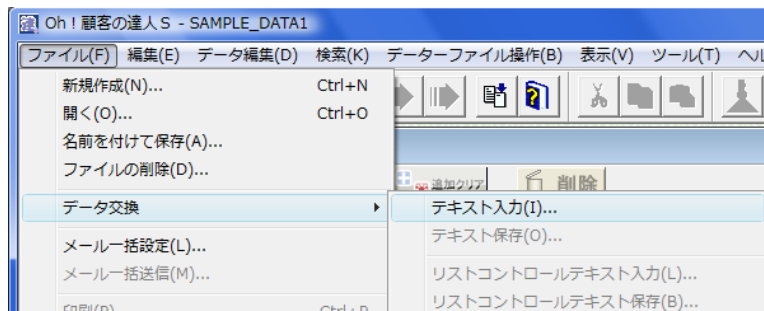
1) 「Oh!顧客の達人 S」を起動します。

今後利用したいファイルを「開く」により選択します。

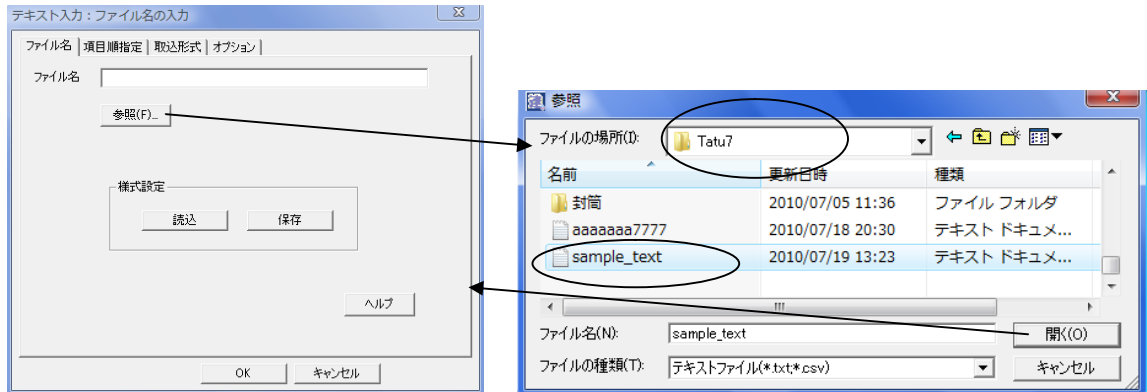
「Oh!顧客の達人 S」では個人&会社、個人だけ、会社だけ、宅配伝票画面など、専門にいくつかの画面サンプルが収録されています。それぞれ事前に項目などを確認し最適な画面でお使いください。



1) 「ファイル」メニューの「データ交換」「テキスト入力」を選択して、最初に保存したテキストデータを読み込みます。

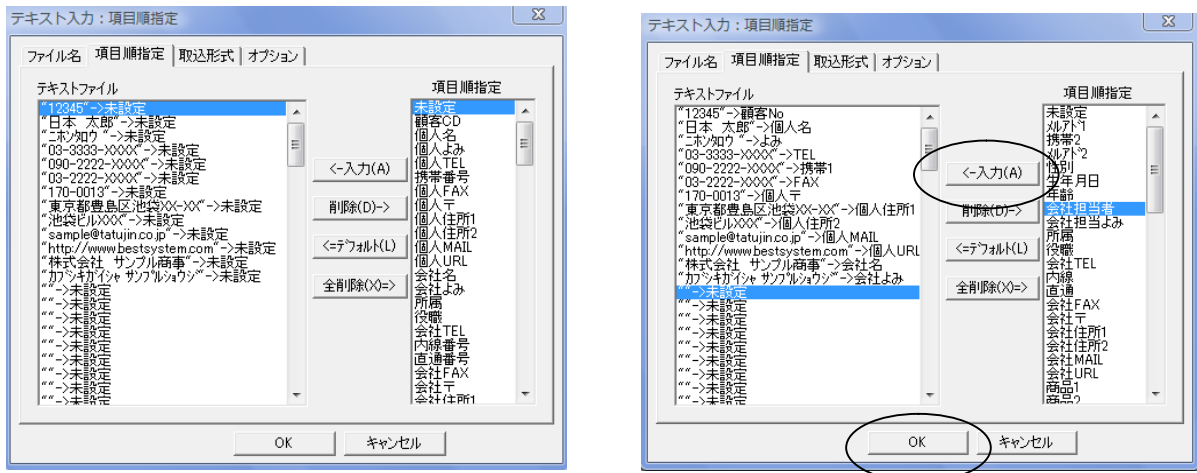


テキスト入力画面が表示します。



2) 「参照」をクリックし最初に保存した場所 c:\¥tatuX ( X はバージョン名) を指定し、そこで表示した保存テキストファイル名(ここでは “ sample\_text ”) を指定し「開く」をクリックします。 ファイルがセットされます。

3) 次に「項目順指定」タグを選択します。



項目割り当てに関し、Oh!顧客の達人 S では、新たな項目が追加されています。このため、どのデータがこれまでどの項目に入力されていたのかを、旧 Oh!顧客の達人で確認しておく必要があります。次ページの項目順を参考に 1 件目のデータに Oh!顧客の達人 S の項目を割り当てていきます。割り当ては各割り当て項目をそれぞれクリックして「追加」を選択します。「削除」のクリックにより取り消しもできます。

< 項目比較一覧 >

旧 Oh!顧客の達人

基本項目

旧顧客の達人	顧客の達人 S		
基本画面	個人 & 会社	達人 S 個人	達人 S 会社
1 ページ項目	1 ページ項目	1 ページ項目	1 ページ項目
顧客 CD	顧客 NO	顧客 NO	顧客 NO
個人名	個人名	個人名	会社名
個人よみ	個人よみ	個人よみ	会社よみ
個人 TEL	個人 TEL	個人 TEL	会社担当者
携帯番号	個人 FAX	個人 FAX	会社担当よみ
個人 FAX	携帯 1	携帯 1	所属
個人〒	メールアドレス 1	メールアドレス 1	役職
個人住所 1	携帯 2	携帯 2	会社 TEL
個人住所 2	メールアドレス 2	メールアドレス 2	内線番号
個人 MAIL	性別	性別	直通番号
個人 URL	生年月日	生年月日	会社 FAX
会社名	年齢	年齢	会社〒
会社よみ	個人〒	個人〒	会社住所 1
所属	個人住所 1	個人住所 1	会社住所 2
役職	個人住所 2	個人住所 2	会社 MAIL
会社 TEL	個人 MAIL	個人 MAIL	会社 URL
内線番号	個人 URL	個人 URL	商品 1
直通番号	会社名	商品 1	商品 2
会社 FAX	会社よみ	商品 2	商品 3
会社〒	会社担当者	商品 3	商品 4
会社住所 1	会社担当よみ	商品 4	商品 5
会社住所 2	所属	商品 5	商品 6
会社 MAIL	役職	商品 6	年賀状
会社 URL	会社 TEL	年賀状	暑中見舞
商品 1	内線番号	暑中見舞	お中元
商品 2	直通番号	お中元	お歳暮
商品 3	会社 FAX	お歳暮	優
商品 4	会社〒	優	良

商品 5	会社住所 1	良	可
暑中見舞個人	会社住所 2	可	業種
暑中見舞会社	会社 MAIL	出身地	職種
お中元個人	会社 URL	最終学歴	分野
お中元会社	商品 1	趣味 / 特技	資本金
年賀状個人	商品 2	家族 1	締め日
年賀状会社	商品 3	続柄 1	支払日
お歳暮個人	商品 4	家族 2	条件
お歳暮会社	商品 5	続柄 2	決算期
マーク 1	商品 6	家族 3	株主
マーク 2	年賀状	続柄 3	代表者
マーク 3	暑中見舞	家族 4	販売先
入力部署	お中元	続柄 4	仕入先
入力者	お歳暮	家族 5	メモ
	優	続柄 5	タイトル
	良	メモ	
	可	画像	
	メモ		
	画像		
	入力者		

以下 2 ページ

以下 2 ページ

性別	出身地
生年月日	最終学歴
年齢	趣味 / 特技
出身地	家族 1
最終学歴	続柄 1
趣味	家族 2
特技	続柄 2
家族 1	家族 3
続柄 1	続柄 3
家族 2	家族 4
続柄 2	続柄 4
家族 3	家族 5

以下 2 ページ

履歴画面

(旧データ互換なし)

以下 2 ページ

履歴画面

(旧データ互換なし)

以下 3 ページ

画像



続柄 3	続柄 5
家族 4	業種
続柄 4	職種
以下 3 ページ	分野
	資本金
業種	締め日
職種	支払日
分野	条件
資本金	決算期
締め日	株主
支払日	代表者
条件	販売先
決算期	仕入先
株主	以下 3 ページ 履歴画面 (旧データ互換なし)
代表者	
販売先	
仕入先	

以下 4 ページ

メモ
----

4) 全ての項目設定ができましたら「OK」を選択します。  
それぞれの割り当てに応じたデータが項目にセットされます。

The screenshot shows the 'Oh! 顧客の達人 S' software interface. The window title is 'Oh! 顧客の達人 S - 会社個人顧客'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', 'データ編集(D)', '検索(K)', 'データファイル操作(B)', '表示(V)', 'ツール(T)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar contains various icons for file operations and editing. The main window is titled '基本情報 - 基本' and has tabs for '基本', '詳細', and '履歴'. The '基本' tab is active, showing a form for customer data entry. The customer number is '顧客No 12345'. The form is divided into two main sections: '個人情報' (Personal Information) and '会社情報' (Company Information). The '個人情報' section includes fields for '個人名' (Name: 日本 太郎), 'よみ' (Reading: 日本太郎), 'TEL' (03-3333-XXXX), 'FAX' (03-2222-XXXX), '携帯1' (090-2222-XXXX), '携帯2', '〒' (170-0013), '住所1' (東京都豊島区池袋XX-XX), '住所2' (池袋ビルXXX), 'Mail' (sample@tatujin.co.jp), and 'URL' (http://www.bestssystem.com). There are also fields for '性別' (Gender), '生年月日' (Date of Birth), and '年齢' (Age). The '会社情報' section includes fields for '会社名' (株式会社 サンプル商事), 'よみ' (カシキガイシャ サンプルショウブ), '担当者' (Person in Charge), '所属' (Affiliation), '役職' (Position), 'TEL' (with '内線' - Internal Line), '直通' (Direct Line), 'FAX', '〒' (Postal Code), '住所1' (Address 1), '住所2' (Address 2), 'Mail', and 'URL'. At the bottom, there are checkboxes for '冠婚葬祭' (Ceremonies) and 'ランク' (Rank).

これで、Oh!顧客の達人 S の新しい画面へのデータの取込が終了しました。